

～ 萩にまつわる豆知識 ～

豆知識とは、「ちょっとした知識。本筋からは外れているが、知っているのと役に立つ話」のことです。今回は萩に関する豆知識を紹介します。



★ 夏みかん ★

同じ木に昨年の実と今年の実が同時につくことから「代々=ダイダイ」とも言われます。

5月ごろに白く可憐な花を咲かせ、町のあちこちで夏みかんの花の甘い香りを感じることができます。平成13年、環境省の「かおり風景100選」に山口県で唯一選ばれています。

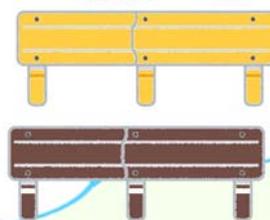


山口県の県道のガードレールは、昭和38年の山口国体開催の際、環境整備の一環として夏みかんの色(黄色)に統一されたそうです。

萩市内では景観に配慮し、茶色のガードレールが増えているそうです。



山口県
独自の色



★ 笠山 ★

いちめがさ
つばの広い市女笠に似ていることから「笠山」と呼ばれるようになったそうです。

標高は112m。山頂には直径30m、深さ30mの噴火口跡が残っています。

萩周辺の50の火山からなる阿武火山群の火山の一つで、北長門海岸国立公園に指定されています。



(市女笠)

とびのす
山頂展望台は、愛称「とびのす 鳶ノ巣」としてリニューアルされ、2階はカフェ、3階は展示休憩室になっています。美しい眺望・景観をゆっくり楽しむことができます。



～お誕生日おめでとうございます～

※ホームページ上での氏名の掲載は控えさせていただきます

※ご本人またはご親族の方の承諾を得た方のみ
掲載しています

★ 蒸気まんじゅう ★

小麦粉の生地「あんこ」を入れ、金属製の焼き型で焼いた和菓子といえば何を思い浮かべますか？
形や呼び名はいろいろありますが、萩では「蒸気まんじゅう」がお馴染みではないでしょうか。



【たい焼き】

【大判焼き】

【蒸気まんじゅう】



蒸気船の形になったのは、約130年前の幕末頃のこと。
萩沖に度々現れていたロシアの黒船が理由です。
「まんじゅうにして焼いて食ってしまえ!」と、蒸気船の形にしたのが始まりといわれています。

★ 重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区) ★

伝建地区とは、城下町や宿場町など、歴史的な集落・町並みを保存するために市町村が定めた地区のことです。
その中でも国によって高い価値が認められたものは、重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)といえます。

萩市には4つの重伝建地区があります。



堀内地区	武家町	江戸の古地図で町歩きができる。秋田県の角館など、他の5地区とともに重伝建地区第1号に認定。
平安古地区		
浜崎	港町	萩城下で栄えた港町。多くの町屋が残っている。
佐々並市	宿場町	参勤交代の際の宿場町として栄えた。山の緑に映える赤褐色の石州瓦の町並みが印象的。